

少子化, 分娩施設の集約, 就業場所の偏在etc. から 助産師の よりよい未来像を描く!

現在, 助産師が直面している課題はさまざまあります。

少子化による分娩件数の減少, 産科閉鎖による分娩施設の集約,
教育機関の増加に伴う教員や実習施設数の不足, 助産師就業数の大規模病院への偏在,
業務拡大に関する議論や, 分娩開業助産所の減少など……。

しかし一方で, 高齢出産後の育児支援や,
メンタルケアの必要な褥婦の支援なども含めた

産後ケアや育児支援が必要とされています。

また, 開業助産師の行なうケアは, 絶やしてはならないものと認識されていますし,
大多数を占める勤務助産師も各施設でさまざまな工夫をしながら
助産ケアを日々提供しています。

これら直面する課題にどう向き合っていくか——。

助産師がすべての母子ケアに携われることを念頭におき,
施設勤務, 開業, 教育現場など, 働く場所はさまざまでも, すべてが連携しながら,
助産師のよりよい未来像を描きませんか。

